

# 記入例

令和 年 月 日

相馬市長

## 令和7年度 市民税・県民税(家屋敷課税)申告書

住所	相馬市中村字北町63番地の3	生年月日	昭和63年3月3日
フリガナ	そうま たろう	電話番号	0244-37-2127
氏名	相馬 太郎		

事業所・家屋敷の所在地	相馬市尾浜字追川196
-------------	-------------

住所・氏名・生年月日・電話番号・所在地を記入してください。あらかじめ記載されている場合は、誤りがないかを確認していただき、修正があれば二重線を引き、上に正しいものを記入してください。

家屋敷課税になる場合の  
納税通知書の送付先

### ・令和7年1月1日時点での事業所・家屋敷の状況等

事業所 事務所	<input type="radio"/> 自身が事業を営む事業所または事務所である				
	<input type="radio"/> 法人・団体が事業を営む事業所または事務所である				<input checked="" type="checkbox"/>
家屋敷	<input type="radio"/> 自身や家族が使用できる	当てはまるものにチェックをつけてください。 当てはまるものがない場合は状況等を下	いる	いない	
	<input type="radio"/> 家族が居住している				
	<input type="radio"/> 貸付用不動産であり現在				
	<input type="radio"/> 老朽化などにより人が住				
	<input type="radio"/> 自己以外の者に支配権がある ※				
<input type="radio"/> 当該家屋敷の共有者の一人である					
<input type="radio"/> 遺産分割協議中であり、相続人が確定していない					

### ・上記に当てはまるものがない(下欄に記載してください)

(状況等を記載してください)

(例)

- ・住宅の敷地にある物件であるが、過去に店舗として使っていたが現在は営業しておらず、倉庫として利用している。
- ・誰も住んでおらず、空き家となっている。

### ・令和7年1月1日現在、あなた様以外の者に支配権があると思われる場合は下記に記入してください。

氏名	.....
住所	.....
電話番号	.....

※「支配権がある」とは…常に自身や家族が居住できるような状態。自己所有でなくてもよい。逆に自己所有の場合でも貸付用の物件の場合は支配権をもちません。

・建物の現況が「事務所、事業所又は家屋敷」に該当する場合でも、所得が当市の基準に満たない場合は課税となりません。

《市確認欄》